

2026年2月25日

「とうほうポジティブ・インパクト・ファイナンス」に係る
モニタリングの実施について

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、「とうほうポジティブ・インパクト・ファイナンス」（※以下、「とうほう PIF」）に係る、モニタリングを実施しましたのでお知らせいたします。

2025年1月までにお客さまと設定した KPI（重要業績評価指標）に関する進捗などのお取り組み状況を対話し、別添のモニタリング結果報告（一般財団法人とうほう地域総合研究所（理事長：矢吹 光一）にて作成。）の通り、ポジティブインパクト拡大とネガティブインパクト緩和に向けた達成状況を確認しております。また、必要に応じて、お客さまへのコンサルティングやビジネスマッチングなどの各種ソリューションを提案しております。

当行では、2030年までに合計 1.5 兆円のサステナブルファイナンスを実行することを目標として掲げており、今後も多様な金融手法を活用しながら、お客さまのサステナビリティ経営をサポートしてまいります。

（※）お客さまの事業活動が、環境・社会・経済にもたらすインパクトを包括的に分析・評価し、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの縮小に向けた支援を目的とするサステナブルファイナンス商品です。「とうほう PIF」の実施体制は株式会社格付投資情報センターより、ポジティブインパクト金融原則に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています。とうほう PIF を契約したお客さまとは、設定した KPI の達成状況に関し、当行と一般財団法人とうほう地域総合研究所が年に 1 回モニタリングを実施し、融資期間中に亘って KPI の達成に向けて伴走支援を行っております。

記

【モニタリング実施企業】

企 業 名	渋谷レックス株式会社 代表取締役社長 澁谷 裕司
-------	--------------------------

以上



東邦銀行グループでは、『サステナビリティ宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

東邦銀行

渋谷レックス株式会社様 サステナビリティ経営への取組み



渋谷レックス株式会社様が設定した目標・KPIは達成に向けて着実に進捗しております。環境面では、温室効果ガス排出量の可視化を始め、排出量の削減に向けた環境づくりに取り組んでいます。さらに、職場内の断熱化や営業車両を順次エコカーに切替えるなどの施策を進めており、具体的な温室効果ガス削減に取り組んでいます。

社会面では、多様な人材を確保するため、職場内の環境整備や、外国人向けインターシップの実施により計画的に多様な人材の採用を行っています。また、会社敷地内の全面禁煙により、社員の健康管理にも努めています。

経済面においては「流通の力で食文化を育て、幸せと感動と安心を、すべての人へ」の経営理念のもと、国内はもとより、海外にもお菓子を中心とした食品の輸出を行っており、海外向けプライベートブランド商品の開発に取り組み、更なる販路先の拡大に努めています。

初年度のモニタリングではありますが着実に活動しており、今後さらなるインパクトの創出が期待されます。

一般財団法人とうほう地域総合研究所

SDGsの取組内容と達成状況

■ 環境

- 評価システムの導入により、毎月温室効果ガスの排出量計測実施を開始しています。
- 温室効果ガス排出量の可視化により、2030年9月期までに2025年9月期比20%削減に向け、営業車両の随時エコカーへの切替などの施策を順次取り組んでいます。
- 本社社屋改装にあたり遮断効果の高い素材を積極的に採用し、温室効果ガス削減を図っています。

インパクト	取組内容	KPI目標	KPI実績
環境配慮への取組み	・温室効果ガス排出量の可視化と排出量の削減に向けた取組みを強化する	・2025年9月期までに温室効果ガス排出量を計測する ・温室効果ガスを2030年9月期までに2025年9月期比20%削減する	・温室効果ガス排出量の計測実施済み ・今期対象外

■ 社会

- 福島県の労働人口増加への貢献として県外出身者も積極採用しています。多様な人材を確保するため、インターシップの受入や海外事業展開に向けた外国人向け短期インターシップの実施により計画的に多様な人材の採用を行っています。
- 職場環境の改善として、フリーアドレス導入により働きやすい自由なオフィスへの整備を実施しています。2021年の本社社屋1階リモデルで「日経ニューオフィス賞」を受賞したことに続き、2024年には2階全体のリモデル実施で「東北ニューオフィス奨励賞」を受賞しています。
- さらに、従業員の健康促進のため、会社敷地内の全面禁煙、いつでも健康的な食事を提供できる社内食堂「オフィスでやさい」の導入を検討しています。その他にも、交通費などの見直しなど福利厚生 の充実にも努めています。
- 情報セキュリティ体制の強化により、データプライバシー環境を構築するためISMS認証取得を目指し、一次審査に向け取り組んでいます。



本社 1階 (左)
本社 2階リモデル後 (右)

インパクト	取組内容	KPI目標	KPI実績
多様な人材が活躍できる職場づくり	・多様な人材が活躍できる職場環境作りや人材育成カリキュラムの充実等で魅力的な職場を作り、正社員登用を増加させる ・健康経営優良法人の認定取得により、健康経営の取組みを継続する	・国内外出身を問わず、正社員数を毎期3人純増させる ・2026年9月期までに健康経営優良法人の認定を取得し、維持する	・2025年9月期 2名純増 ・認定申請中
データプライバシーへの取組み	・ISMS認証の取得を目指しながら、その過程でデータセキュリティの高度化を実現する	・2027年9月期までにISMS認証を取得し、維持する	・一次審査に向け取組中

■ 経済

- 海外事業売上は、一部海外先の景気減速の影響を受けたが、新たな販路先の開拓を行うなど目標達成に向け取り組んでいます。
- PB商品については、埼玉県三郷にある製造拠点にて、安全安心で健康に配慮したハラル料理やカニカマなど3アイテムを開発しています。さらには、アメリカやベトナム、インド人向けのプライベートブランド商品の開発に向け計画的に取り組んでいます。

インパクト	取組内容	KPI目標	KPI実績
海外への高品質で安心・安全な菓子の提供	・プライベートブランド商品の開発・販売等により、健康への悪影響を低減しながら、海外市場での高品質で安心・安全な日本菓子のアクセスに貢献する	・2027年9月期までに海外事業売上を650百万まで増加させる ・海外向けプライベート商品を2027年9月期までに9件開発する	・2025年9月期 359百万 ・3アイテム開発過程